

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) N.T

所属 (School) 生命環境科学域 緑地環境科学類

学年 (Grade) 1

留学先 (Name of overseas institution)
コンコルドインターナショナル

留学期間 (study abroad period)
2020/2/15~2020/3/9

記入日 (Date) 2020/03/24

留学レポート Study Abroad Report

はじめに

私は今回春季イギリス英語研修に参加し、約3週間イギリスのカンタベリーで過ごしました。参加の理由は、自身の英語力向上のためと、ホームステイや他国の人とのコミュニケーションなどを通じた異文化体験のためです。渡航前は学校の授業についていけるか、ホストファミリーと良い関係を築くことができるか、食事は口に合うか、などとの不安要素が多くありましたが、そのようなことは心配が無用だったことをここで述べていきたいと思います。

ホームステイ

私のホストファミリーは、現在引退済みのホストマザー1人でした。初対面の日、私は元々人見知りでかなり緊張していたことから、ほぼ話すことができませんでした。時間がたつにつれてホームステイにも慣れていくと、ホストマザーと今日学校で何をしたか、放課後どこに行ったか、日本とイギリスの文化の違い、コロナウイルスについてなど、様々な話をすることができるようになってきました。私の英語力は高くないので、最初は会話をするのも勇気が必要でしたが、ホストマザーが熱心に私の言いたいことを読み取ってくれたこと、できるだけゆっくりと簡単な英語を使って分かりやすく話してくれたので、コミュニケーションを取るのも徐々に楽しくなっていました。

ホストマザーはとても料理が上手く、毎日様々な料理とデザートを作ってくれました。ピザやパスタといったイタリアン、焼きそば、春巻きなどの中華、カレー、イギリスの伝統料理のサンデーロースト、フィッシュ&チップス、さらには私が日本人であることからイギリス流のトンかつまで、幅広いジャンルの料理が並びました。イギリスの料理はまずい、とよく耳にしていましたが、そんな価値観を覆されるほどおいしかったです。ご自身は健康に気を遣って野菜メインの料理しか口にしないのに、留学生たちのために料理を振る舞って下さいました。

また彼女は、引退後に数多くの留学生たちを受け入れ、それを生きがいにしているような方でした。事実、私が滞在していた間にもイタリア人2人、スペイン人3人、オーストラリア人2人が交代で滞在していて、外国人の方と共に生活するのも新鮮でした。私は色々ご迷惑をかけてしまいましたが、嫌な顔することなく状況に応じて慣れた感じで対応して下さい、本当に感謝一杯でした。特に私が風邪をひいて高熱を出し、学校にも行けなくなったような時には「よく効く薬だから」と言って薬を飲ませてくれたり、毎日体調を気遣ってくれたり、まるで本当の母親のように振る舞ってくれました。

ホストマザーには本当に感謝の気持ちで一杯です。掃除、洗濯などもそうですが、精神的にも日々寄り添い、ホームステイが快適になるようにサポートしてくれたことに感謝です。帰国前日に「またカンタベリー



に來たい?」「もちろん!」という会話をし、再会の約束をしたのが心に残っています。

学校

学校はカンタベリー市内に位置し、ホームステイ先からはバスで約 20 分の距離でした。週 25 時間 10 人前後のクラスでの英語の授業は、ペアワークやグループワークを中心としたディスカッションをする時もあれば、文法やライティングをする時もあり、日本の英語の授業とは異なり、とてもバランスが取れていました。日本人はスピーキングが苦手傾向にあるため、海外出身の生徒たちが流暢に英語を話しているのに驚きでした。最初は周りの生徒に圧倒されていたのと、自分のスピーキングに自身がなかったことから、なかなか自分の意見を話すことができませんでした。授業にも慣れてくると、特にためらいなく話すことができるようになりました。先生は分からない単語を教えてくれたり、間違った言い回しを正してくれたり、生徒が自主的に英語を身に付けていくのを手助けしてくれるような感じで、先生と生徒の在り方も日本の英語授業とは異なるものだと思います。クラスには韓国、サウジアラビア、イタリア、スペインなど世界各国の生徒がいて、それぞれの文化や慣習の違いをディスカッションすることもあり、興味深かったです。

学校では様々なイベントが開催されていました。パブでの BBQ や授業がない金曜日午後の遠足など、他の生徒や先生、スタッフの方と仲良くなる機会が多いのも良かったと思います。

また、学校には日本人スタッフの男性がいらっしゃいました。こまめな連絡事項の伝達、事務的な手続きなど、府大生を始めとする日本人学生のサポートをして下さり、お陰様で安心して学校生活を送ることができました。本当に感謝です。

カンタベリー

カンタベリーはロンドンからバスで 2 時間ほどの距離にある街です。ロンドンへのアクセスが良いため、休日にロンドンへ行く人も多かったです。中心部には大きなバスステーション、そこから徒歩圏内には電車の駅もあり、便利が良いです。また、スーパーやお店も充実しているため、カンタベリー内でも十分に快適に過ごすことができます。ごはんまりと落ち着いた雰囲気があり、きれいで、街の店の人たちも親切なカンタベリーは、個人的にはロンドンより好きでした。

この街にはカンタベリー大聖堂を始めとした世界遺産があります。カンタベリー大聖堂は現在工事中なので、外装も内装もあまり見学できなかったのが残念でしたが、見えた範囲からでも分かるほどの歴史深さでした。歴史的な建造物や建築に興味がある人にはたまらないと思います。ここではミサが行われていて、私たちも夕方のミサに参加させて頂きました。成人男性と少年から成る聖歌隊のイブニングソングは想像以上に透き通った歌声で、圧巻でした。キリスト教とは無縁な私にとってミサは非常に貴重な体験でした。

そんな素敵な街カンタベリーですが、ひとつだけ困らされたことがありました。気候です。到着日は大嵐、帰国時も雨、朝晴れていると思ったら帰りは大雨、風も強く傘が差せないことも多々ありました。カンタベリーに限らずイギリスではどこでもそうだと思いますが、イースターまでは天候は不安定なので、一日中晴れという日を期待しない方がよさそうです。気温は日本よりもやや寒いくらいでしたが、耐えられないほどではありませんでした。

さいごに

私は今回このプログラムに参加して本当に良かったと思っています。僅か 3 週間で英語力が劇的に向上したとは思えませんが、それ以上に多くの素敵な人との出会いがあり、日本では体験できないような新鮮で刺激的な体験があり、たくさん学び、人生における財産になりました。そして、より語学の勉強に励もうという意欲や、異文化体験を続けていきたいという意欲も湧きました。帰国時の幸福感、充実感、そして名残惜しさを是非皆さんに体験してほしいです。大学生活をどう過ごすかは人それぞれです。部活やサークルに打ち込むのも良いですが、大学特有の長期休暇を利用して、留学体験をしてみてもどうでしょうか。

最後に、今回の研修に関わって下さった全ての方に心より感謝申し上げます。

